

## 【めむろ未来ミーティング日程 2】

令和5年1月10日（火）

13:30～14:30

### 上伏古生活改善センター

（共栄区、上伏古区）

- 参加者 21人
- 芽室町 町長、副町長、教育長、政策推進課長、環境土木課長、農林課長
- 記録 政策推進課長補佐、今森

#### ■対応・検討が必要な事項

- ①バス通学生への配慮について（教育推進課）
- ②大雪等の際の学校の対応について（教育推進課）

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
  - 資料1 公共施設等再配置構想
  - 資料2 まちなか再生の取り組み
  - 資料3 マイナンバーカード臨時窓口
  - 資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書
- 4 意見交換

【意見】  
斎場の整備について。進展がないようだが、これまでの経過含め、今後の予定をご説明いただきたい。

【環境土木課長】  
斎場については、令和2年度に方針を定め、令和3年度に基本計画を策定した。現状の建物が昭和52年のもので、耐震性の有無を確認した。その結果、耐震性があるとのことで、既存の建物を改築する方向性となった。その間、課題を共有する目的で、地域の皆

さんとも数度にわたり話し合いを行った。大きな課題として(1)現状の建物の煙 (2)火葬中、待機している参列者の方々が畑に入ってしまうことがある の2点が挙げられた。基本計画は、これらの解決策を盛り込んだ内容となっている。今年度は財源確保に向け、調査研究を行っている段階。財源の目途が立てば、基本設計、実施設計の後に工事に移る。これには概ね5年程度を要する見通しである。資料1の地図上に斎場が落とし込まれていないが、早期にこの構想に載るよう、進めていきたいと考えている。

【町長】  
施設計画は N+〇年度という形になっている。斎場では N+5年度というもので、N をいつにするのが問題。場所については上伏古の皆さんのご理解をいただいているので、それを損なわないよう、できるだけ早期に着手したい。

町内にある大型の地域公共施設の中で、次に整備すべきは斎場と認識している。かかる金額が大きいため、起債や補助、町の負担がどのくらい必要か、今後見定めていく必要がある。もう少し、お時間をいただきたい。

【意見】  
進展があればまた説明いただける旨、理解した。

【町長】  
図面ができれば皆さまにもお伝えしたい。

【意見】  
①子どもが芽室中学校に通学している。5 時間授業で何もなければ2時40分のバスで帰るが、掃除当番や委員会があると間に合わないことがある。今は学校内でバスを待ってられないので、外のバス停で待っている。冬は寒く、外は不審者の心配もある。バスに間に合わないので掃除や委員会に出ず帰るのもどうかと思う。何らかの対応をいただきたい。

【教育長】

以前、バスの時間が間に合わない生徒は掃除を免除する対応をしたこともある。こうした配慮については学年や学級により対応に差があるかもしれない。一度確認したい。寒い時期は図書室や集会室で待機することは可能。外で待たなければならぬというのは誤解。担任にお話しいただければ解消すると思う。

【意見】

①バス通学生への対応が蔑ろになっていると感じる。掃除は教育の一環ということも理解しているので、免除されて当たり前とは思っていない。しかし、帰りの会が長引くなどでぎりぎり時間に間に合わない日などもある。子どもから先生にはなかなか言いづらいものがあり、先生はバスの時間に対する配慮がないように感じる。

もう一点、②先日の大雪の日について。学校が2時間遅れの登校となり、小学校は帰りのバスが出ないことになり1時から2時の間に迎えに来てくれと連絡があった。私は子どもが小学校にも中学校にも通っているが、中学校からは何も連絡がなかった。

中学校に確認すると、時間割通りにやるので、下校時に迎えに来て欲しいとのことだった。これはそれぞれの学校に対応を任せたといい形なのか。朝バスで迎えに回ったのだから、帰りも何とか送り届ける措置をしてほしかった。もしくは最初から休校でよかったのではないか。

【教育長】

まずバスの運行についてお詫びしたい。その日は終業式だったことや、教育委員会としても授業数を確保しなければならない考えもあり、2時間遅れの登校となった。バスが全く走れない状況であれば休校の判断だったが、何とか走れる状況であった。

行きのバスを運行したところ、バス会社の方から大型車両が通行するには危険な箇所がある旨の指摘を受け、帰りのバスを運行しないこととなった。保護者の皆さまには大変申し訳なく思うが、あのような対応とさせていただきます。

また、南小学校が下校時間を繰り上げた件については事後に報告があった。町のスタンスとしては2時間遅れで登校した後は通常通りと考えていたので、学校長の判断でそうなった。今後このような際は委員会にも報告してもらいたい旨を伝えた。小・中学校の連携については、保護者の混乱や不都合が生じないように指導していきたい。

バス通学生への対応が蔑ろになっているという意見について、私はそういったスタンスではないと思うが、保護者やお子さんがそう感じる状況になっているのであれば、改善していかなければならない。各校に指導をしていく。

【意見】

②帰りのバスが運行できず保護者の迎えが必要となれば、帰りのバスが運行しないと決まった時点で小・中の中下校時間を学校の独断で繰り上げさせないだとか、中学校であれば15時半まで授業であれば17時まで学校で待っても良いというようにし、その間に幹線道路を除雪するなどの対応をお願いしたい。

小・中の時間を揃えるのもそうだが、幹線道路だけでも一本空けてもらえるよう対応いただきたい。

【教育長】

教育委員会も環境土木課と連携し、除雪の見通しを見ながらバス運行が可能かどうか判断を行っている。しかし、今回は想像以上に雪が重く、このような事態となってしまった。

今回の課題について整理し、同じようなことにならないよう対応したい。

【町長】

関係課の連携もそうだが、学校間で対応が違うということがないようにしたい。教育長が申し上げたように、雪の状況も見ながらしっかり対応したい。

バス運休の件については、昨年に川北方面バスの脱輪事故もあり、慎重な対応となった。

【意見】

災害相当の大雪なので、見通しが立たなかつたりバラ

バラな対応になるのは理解できる。ただ、②災害だと感じるのであれば子ども達が一時待機できる場所を確保し、安全な状況になってからバスを運行したり、迎えにきてもらう対応もあったのではないかと。停電した世帯もあり、急な対応ができない保護者もいる。

#### 【教育長】

急な送迎の対応が難しい保護者がいるのは当然なので、今回もそのようなご家庭の子どもを校内で待機させる対応は行った。指定の時間に迎えに来られなければ学校で待機させる旨が伝わるように配慮していく。

#### 【意見】

②時間外でも校内で待機できるアナウンスがあれば、保護者も安心できると思う。

#### 【教育長】

今後このようなことがあれば、その旨を通知・連絡するよう学校に指示したい。

#### 【意見】

中学生の子がいるが、教室にいたらすぐ帰らされると聞いている。町側と学校の認識に違いがあるのか、学校の中で各先生に情報が行き渡っていないのか。いま話を聞いていると、学校の中で待ってはいけない決まりはないとのこと。子ども達から聞いた話とずれている。例えば担任の先生がたまたま教室にいた生徒に「無駄に残らず早く帰りなさい」と言ったことが子ども達の間で曲解されてしまったのか、経緯はわからないが勘違いが生じていると思う。

#### 【教育長】

中学校では学年単位で動くため、本来「バス通学生は掃除を免除し帰宅させる」などの決定は学年で統一されている。しかし、お話を聞く限りではそこもバラバラなので、確認のうえ指導したい。学校からすぐ帰るように言われるのは、決められた時間、または下校時間のことではないかと思う。バス通学生は放課後残ることはないと思うが、下校後

の時間になっても在校している生徒は帰宅させるよう統一している。待機しているバス通学生と扱いを混同しないよう、学校に周知徹底したい。

#### 【意見】

町の農業について。いま農業を取り巻く状況は苦しいものがあるが、町長として今後こうしていきたいなど展望があれば伺いたい。

#### 【町長】

近々でいえば、肥料について。今後さらに価格が高騰したり、現物が手に入らなくなってくるのではという話も聞いている。今後この傾向が続くのであれば、自給方法も考えていかなければならないと感じている。いまは国の方で下水の汚泥を活用し堆肥を作るなど、未利用資源拡大の動きもある。それがイコール解決策になるかどうか分からないが、そうした取り組みをしていかななくては、結局は輸入頼りになる。飼料も同様で、内部で耕畜連携が必要になってくるのではと考えている。

また、気になっているのは芽室町の2万町が作目同士の引っ張り合いになっていること。その時々で儲かるものに手を付けるのは当然だが、それによって流れが結構変わっていく。今回例えばビートが55万tまでになってしまうと、当然作付は減っていくことになる。しかし、ビートは4輪作の中で絶対必要だと思う。辞めるなら仕方がないが、果たしてビートは砂糖だけのためのものなのか、他の用途に使うような、そういった研究ができないのかと考えている。そうして作付けを一定程度確保し、製品の価格が違うのであれば国に支援いただき4輪作を回すという形もある。

一方で製菓業界から小豆を作って欲しい、他方からはイモを作ってほしい、種馬铃薯を増やしてという要望もある。種馬铃薯は抜き取り作業も大変なので、簡単に「取り組みます」とは行かないと思う。国の考えている農政と現実の農政は違うため、実態を訴えていかななくてはならない。お金の取れる作目だけに移行してしまうと、輪作としてのバランスが悪い。4輪作を守りたいというのは私の思いとして

ある。

もう一つは新規作物と、その加工によって付加価値を付けていく農業も進めなくてはならないと考えている。大規模化といっても限界があり、今の一戸あたりの平均耕地面積が35町ほどになっている。これが40、45町となっていったときに、手間のかからない作物で大規模化する農家と、付加価値を付ける方法を考えていく農家に二極化していくと予想している。農協などとも話し合いながらバランスを調整しなくてはならないが、いずれにせよ頑張っている方は助ける、そういう農政をしていかななくてはと思う。

（※ 1町とはおおよそ1ha(1万㎡)を指します）

#### 【意見】

マイナンバーカードについて。コンビニ交付の機能がまだということで、そこで普及率が上がらないのではないか。

また、休日に役場の自動交付機を使ったとき、役場内に誰もいなかった。執務スペース内に誰でも入っていきそうだったが、セキュリティ的に大丈夫なのか。

#### 【副町長】

物理的には執務スペースに無理に入ることはできるが、監視カメラでしっかり録画している。

#### 【町長】

コンビニ交付も検討していないわけではないが、手数料の問題もある。色々な場面で使えたら良いのは間違いないので、遠い将来でなく使えるようにしたいと思う。医療機関によってはマイナンバーカードと保険証を紐づけて使えるところもあり、今後も増えていく見通し。より便利になっていくのは間違いないと思う。



14:30 終了